2017年3月期第2四半期　決算説明会資料
～中計「New Challenge2016」の最終年度の進捗について～

2016年11月30日

稲畑産業株式会社

代表取締役社長
稲畑　勝太郎

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

会社概要

稲畑産業とは、

稲畑染料店（京都・西陣）

1．**創業1890年**

1890年　京都において、稲畑染料店として発足
その後、ケミカル分野を中心に事業を拡大

2．**グローバルに複合展開する商社**

世界18カ国に約60拠点を展開
市場開発、製造加工、物流、ファイナンス等の機能
商品やマーケットの専門知識・ノウハウに基づく企画・提案

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

3. 5つの事業分野

情報電子、化学品、生活産業、合成樹脂、住環境の5つの分野で事業を展開

Copyright © INABATA &CO., LTD. 2016

中計「 New Challenge2016 」の定量目標

IK

中期経営計画目標（2017年3月期）

売上高	：	6,200億円
営業利益	：	125億円
経常利益	：	135億円
純利益	：	100億円
ROE	：	8.2%
ネットD/Eレシオ	：	0.45倍以下（※）
自己資本比率	：	38.0%
想定為替レート	：	1USD=100円

（※）ネットD/Eレシオ＝（有利子負債－現預金）/自己資本

Copyright © INABATA＆CO., LTD. 2016

「 New Challenge2016 」 6つの重点施策

1.　海外事業の更なる拡大と深化

- 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化
- アジア以外の新興国への取り組みの拡大
- 非日系企業との取引の拡大

2.　成長が見込める市場・未開拓分野への注力

- 自動車分野、環境・エネルギー分野、ライフサイエンス分野への注力
- 新規取引先・新規商材を拡大し、収益の多様化を着実に進める

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

「 New Challenge2016 」 6つの重点施策

3.　グローバル経営のインフラ整備・拡充

- グローバル経営を支えるリスク管理・経営管理手法の整備
- 情報システム、業務プロセスのグローバルな標準化の推進

4.　将来の成長に向けた投資の実施

- 今後3年間の投資枠を100億円に設定

5.　資金効率・資産効率の更なる追求と財務体質の強化

6.　グローバル人材の継続的な育成

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

◆ 液晶パネルのマーケット

・TVセット出荷実績
2Q 前年同期比 98% 通年見通し 同 98%(225百万台)
・スマホ出荷実績
2Q 前年同期比104% 通年見通し 同105%(1,419百万台)

- 4～9月は、液晶パネルの需給が一時的に改善、各サイズで価格が上昇 ⇒ パネルメーカーの損益改善へ

- しかし、2018年にかけて中国パネルメーカーの生産能力増強が続き、再び供給過剰へ ⇒ 価格面では弱含みを想定

Copyright © INABATA &CO., LTD. 2016

事業環境 【2017年3月期2Q 主要なマーケットの見通し】

◆ 合成樹脂のマーケット（国内）

- ナフサ価格の下落による、樹脂単価の下落
  （ナフサ価格 2015年7～9月47,200円⇒2016年7～9月31,300円/kl）

- しかし、ナフサ価格の下落は底を打った感があり、今後、大幅な単価ダウンはないと想定

- 自動車生産台数は前年比微減の900万台程度の見込み
  自動車分野の国内マーケットの伸長は期待薄 ⇒ 海外拡販へ

- 食品容器、食品包装分野は総じて好調を維持
- 日用品は堅調、建材・土木分野は低位安定

Copyright © INABATA＆CO., LTD. 2016

【定量面】

「New Challenge2016」最終年度の進捗状況

（億円）	2017年3月期第2四半期				
	17/3期2Q 実績 (A)	通期見通し (B)	進捗率 (A/B)%	中期計画 最終年度 目標(C)	進捗率 (A/C)%
売上高	2,888	5,900	49.0%	6,200	46.6%
営業利益	56	115	49.4%	125	45.4%
経常利益	64	125	51.3%	135	47.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	46	90	52.0%	100	46.8%
ネットD/Eレシオ	0.35	–	–	0.45	–
自己資本比率	42.0%	–	–	38.0%	–
為替レート(米ドル)	105.20円	110.00円	–	100.00円	–

Copyright © INABATA &CO., LTD. 2016

「New Challenge2016」最終年度　見通し

（注）16/3期の純利益は、有価証券売却益8億円を含む。

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

「New Challenge2016」最終年度　見通しと中計目標の差異
連結　売上高

（注）17/3期より、従来「その他」に区分していたクレーン関連事業を「情報電子事業」に区分しました。
16/3期（実績）、17/3期（中計目標）についても、変更後の区分に基づいて作成しております。

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

「New Challenge2016」最終年度　見通しと中計目標の差異
連結　営業利益

17/3期
見通しと中計目標との差異

	▲10
その他	0
住環境	▲1
合成樹脂	+6
生活産業	▲2
化学品	+1
情報電子	▲14

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

「New Challenge2016」最終年度　見通しと中計目標の差異
①　情報電子セグメント　売上高・営業利益

■ 17/3期見通しと中計目標の差異　　売上高　▲105億円　営業利益　▲14億円

- ✓ 中計目標策定時の想定には届かない見通しだが、足元では中国パネルメーカー向け偏光板の販売が回復
- ✓ 但し、競争環境は依然厳しく、利益率は低下傾向
- ✓ 欧州において、太陽電池関連の部材の販売が伸長

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

「New Challenge2016」最終年度　見通しと中計目標の差異
②　化学品セグメント　売上高・営業利益

■ 17/3期見通しと中計目標の差異　　売上高　▲30億円　営業利益　＋1億円

- ✓ 売上高は、中計目標に30億円の未達の見通し
- ✓ 但し、新規ビジネスが順調に拡大し、営業利益は目標値を1億円上回る見通し

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

「New Challenge2016」最終年度　見通しと中計目標の差異
③　生活産業セグメント　売上高・営業利益

■ 17/3期見通しと中計目標の差異　　売上高　▲40億円　営業利益　▲2億円

- ✓ 中計目標に比べ、減収・減益の見通しだが、最終年度に入り医薬関連が急回復、また仏子会社のリストラ進み損益改善
- ✓ 食品関連は、全体的に進捗が遅れ気味、子会社との連携を深めグループで販売力を高める

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

「New Challenge2016」最終年度　見通しと中計目標の差異
④　合成樹脂セグメント　売上高・営業利益

■ 17/3期見通しと中計目標の差異　　売上高　▲105億円　営業利益　＋6億円

- ✓ 原油安に伴う販売単価下落の影響が大きく、中計目標に比べ売上高は105億円の未達の見通し
- ✓ ビジネスは自動車関連を中心に概ね順調、営業利益も目標を6億円上回る見通し

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

「New Challenge2016」最終年度　見通しと中計目標の差異
⑤　住環境セグメント　売上高・営業利益

■ 17/3期見通しと中計目標の差異　　売上高　▲20億円　営業利益　▲1億円

- ✓ 既存ビジネスは概ね順調
- ✓ 但し、発電用木材チップの販売などが遅れ、伸び悩む

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

自動車分野への取り組み

◆ 主な自動車分野の売上高

■ 17/3期見通しと中計目標の差異
合成樹脂　▲60　化学品他　＋3

合成樹脂は、販売単価下落の影響が大きく
売上高未達の見通しだが、商社ビジネスを中心に順調

【主な要因】
（＋）中国での日系・非日系向け販売の伸長
（－）販売単価の下落
（－）東南アジア新興国経済の減速
（－）メキシコ　コンパウンド事業の遅れ

【17/3期　注力テーマ】
• グローバル重点ユーザーへの拡販
• メキシコにおける拡販
• EV/HV用原材料（化学品）

※ 売上高は主な自動車分野の単純合算値。

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

環境・エネルギー分野への取り組み

◆ 主な環境エネルギー分野の売上高

■ 17/3期見通しと中計目標の差異
情報電子　＋3　住環境他　▲19

情報電子は、欧州・中東地域で太陽電池部材の販売が伸長、反面、リチウムイオン電池は伸び悩む

【主な要因】
（＋）欧米の太陽電池市場の活況
（－）発電用木質チップ販売の遅れ（住環境）

【17/3期　注力テーマ】
• 太陽電池関連材料（欧州拠点）
• LED用放熱材料

※ 売上高は主な環境・エネルギー分野の単純合算値。

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

ライフサイエンス分野への取り組み

◆ 主なライフサイエンス分野の売上高

■ 17/3期見通しと中計目標の差異
生活産業　▲20　合成樹脂他　▲4

医薬関連は、中計目標未達の見通しだが、
最終年度に商社ビジネスが回復、
また懸案の仏子会社のリストラも進む

【主な要因】
（ー） 医薬関連ビジネスの伸び悩み
（ー） フランス医薬製造子会社の不振

【17/3期　注力テーマ】
- ジェネリック医薬関連
- フランス医薬製造子会社の立て直し
- 再生医療分野

※ 売上高は主なライフサイエンス分野の単純合算値。

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

・アジア以外の新興国への取り組みの拡大

メキシコの日系初のエンプラ･コンパウンド製造拠点（自動車向け）

2013年11月に稼働開始、2014年9月より量産を開始

2017年3月期2Q　販売実績　2,033トン

⇒　販売の伸びは遅れ気味ながら、新規案件の試作依頼は活発
今後、着実に業績の拡大を見込む

2017年3月期　年5,200トンの販売を計画
中長期の市場拡大を視野に生産能力を増強
年15,000トン体制へ　（量産開始予定　2017年2月）

会社名　：IK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V.
生産能力　：10,200トン/年
所在地　：メキシコ中央部グアナフアト州シラオ

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

・　中核であるアジア事業の更なる拡大と深化

フィリピンの樹脂コンパウンド製造拠点（ＯＡ向け）

2014年7月より商業生産を開始
2015年モデルのプリンターに採用され量産化スタート

主要ＯＡ顧客向けが伸びず、新規案件も採用が後ずれして苦戦中
2017年3月期2Q　販売実績　2,032トン
通期販売見込み　5,000トン

⇒　商社IKと一体で案件獲得に注力

会社名　：IK PLASTIC COMPOUND PHILS. INC.
生産能力　：10,800トン/年
所在地　：フィリピン　ラグナ州

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

【重点施策　将来の成長に向けた投資の実施】

IK

中計3年間の投資枠を100億円に設定

2017年3月期第2四半期までの投資実績累計　96億円

【主な投資案件】

コンパウンド事業関連	15.4億円
インドネシア物流倉庫	12.3億円
インフレ事業関連	8.9億円

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

ガバナンスの強化

IK

ガバナンス強化に向けて、以下の施策を実施

1. 指名・報酬委員会（任意）の設置

経営幹部の選任、取締役・監査役候補の指名、
取締役の報酬決定にあたり、客観性、公正性、透明性を確保

・現構成員： 社内取締役 1名（議長）、独立社外取締役 2名

・2016年3月期 開催実績 2回
・2017年3月期第2四半期 開催実績 1回

Copyright © INABATA &CO., LTD. 2016

2. 取締役会評価（自己評価）の実施

取締役会の実効性と透明性を高め、企業価値を向上させることを目的

【初回】
・2015年11月　全取締役・監査役にアンケート形式で実施
・2016年1月　分析・評価結果を書面で開示

2016年11～12月　今期の取締役会評価（自己評価）を実施

分析・評価結果を、今期末までに開示予定

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

株主への利益還元

利益還元の方針

総還元性向　30～35%目安

2017年3月期

中間配当金　18円　実施済み
期末配当金　18円（予想）
1株当たり年間配当金：　36円（予想）

※総還元性向（%）＝（配当金額＋自己株式取得額）÷連結純利益x100

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016

株主への利益還元

1株当たりの年間配当金と株主還元指標の推移

（注）棒グラフ下部のカッコ（）内は、期中に実施した自己株式取得額（百万円）
（注）11/3期は、創業120周年の記念配当2円を含みます。

Copyright © INABATA＆CO., LTD. 2016

■ 次期中期経営計画について

Copyright © INABATA＆CO., LTD. 2016

【参考】

1株当たりの当期純利益推移(EPS)

（注）棒グラフ下部のカッコ（）内は、期中に実施した自己株式取得額（百万円）

Copyright © INABATA＆CO., LTD. 2016

（参考）
過去15年の連結業績の推移

Copyright © INABATA &CO., LTD. 2016

（参考）

過去15年の海外の売上高と営業利益の推移

対米ドル円レート	131.9	119.9	107.1	104.2	118.0	119.1	114.1	91.0	92.1	81.49	77.74	79.81	100.17	109.76	120.15

Copyright © INABATA &CO., LTD. 2016

（参考）

【重点施策　グローバル人材の継続的な育成】

人員の充実と共に、質的な面での強化、育成を加速

- ✓ 日本を含めたナショナルスタッフ同士の交流促進
- ✓ Global Staff Meetingの継続的な開催
  2016年5月に東京で開催（ナショナルスタッフ　6名参加）
  「目指す姿（Vision）」、「価値観（IK Value）」の共有を目指す

海外の商社部門人員と海外赴任者数の推移

（注）各海外赴任者数は、翌月の1日現在の人数

【稲畑フィリピンの社員と役員】

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

（参考）

樹脂コンパウンドの年間生産能力（ワールドワイド）

Copyright © INABATA &CO., LTD. 2016

（参考）
会社概要

会社名	稲畑産業株式会社
創業	1890年10月1日
設立	1918年6月10日
資本金	93億6千4百万円
代表者	代表取締役　社長執行役員 稲畑　勝太郎
本社	大阪本社/大阪市中央区南船場一丁目15番14号 東京本社/東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
従業員数	619名 〔連結3,507名〕
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	63,499,227株

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
上場市場	東証一部
証券コード	8098
単元株式数	100株
株主数	7,094名
大株主の状況（持株比率上位3株主と持株比率）	住友化学株式会社 22.2% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） 5.8 % JP MORGAN CHASE BANK 380684 4.9%

（注）当社保有の自己株式数（1,209,951株）については、持ち株比率の計算から除外しています。

（2016年9月30日現在 ）

Copyright © INABATA &CO., LTD.　2016

◻ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社　財務経営管理室　IR企画部
TEL　050-3684-4007　FAX 03-3639-6410
E-mail　inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項
本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

◆数値の表示に関して
資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

Copyright © INABATA＆CO., LTD.　2016